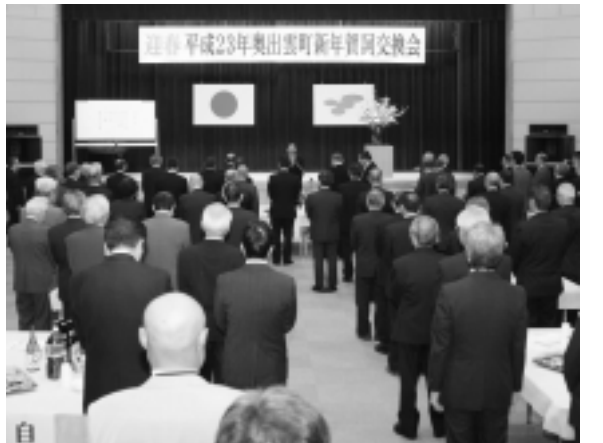


新年の幕開けを祝う 平成23年 奥出雲町新年賀詞交換会



多くの人が出席した交換会

新春を寿ぎ、町の更なる発展を願う「奥出雲町新年賀詞交換会」が一月四日、カルチャープラザ仁多で開催されました。

交換会には、井上町長をはじめ、議員、自治会長、町内企業や各種団体の代表者など、約百五十人が出席しました。

井上町長から、発足五周年の節目となった昨年の動きや、町民の活躍を振り返るとともに、「本年も地域に密着したまちづくりや景気対策に積極的に取り組む、引き続き、医療福祉の充実、生活基盤整備、農業振興、観光振興施策など」

行なっていきたい。『笑顔と語り、元氣あふれる町づくり』をスローガンに、更に潤いと活力にあふれた町を皆様と一緒に築いていきたい」と年頭のあいさつがありました。

また来賓を代表して、絲原徳康県議、千原祥道議長からそれぞれあいさつがあり、商工会の渡部一夫会長の乾杯で賀詞交換が行われました。

出席者は、互いに新年のあいさつを交わし、新年の幕開けを祝い、皆で力を合わせて町の発展に取り組んでいくことを誓いました。

雪景色に響く太鼓 仁多乃炎太鼓 年越し演奏会

新年を迎える「仁多乃炎太鼓年越し演奏会」が、大晦日から元日にかけて、三成の仁多土木事業所前駐車場で行われました。

年越しの恒例となっているこのイベントは、平成五年から始まり、今年で十九回目、来年は二十回目の節目を迎えます。

今回は、「炎太鼓」などおなじみの曲や新曲などが多数披露されたほか、年越しの瞬間には、炎太鼓のメンバー、観客たちが一緒にカウントダウンを行い、賑やかに新年を迎えました。

この日は、年末から降り続いた大雪にも関わらず、多くの観客が訪れ、かがり火に彩られた雪景色に響く、勇壮な太鼓の音色に酔いしれました。



降雪の中での演奏会



稽古会の様子

七十人の剣士が 年越し稽古

毎年恒例となった、剣道の越年稽古会が、大晦日から元日にかけて、仁多郡剣道連盟の主催で、仁多中学校武道場において行われました。

今年も町内の小・中学校、高校の剣道部員、帰省中の大学生、社会人など約七十人の剣士が参加しました。

午後十一時から始まった稽古会では、素振り、切り返し

稽古、恩師の先生や諸先輩方との掛け稽古などを行いました。

細かい動きや剣さばきについて指導するなど、深夜の稽古にもかわらぬ熱心に取り組んでいました。

新年を迎える凛とした空気の中、剣士たちは熱の入った稽古を行い、更なる精進を誓いました。



歌と札に集中する参加者

新春百人一首大会

新春恒例の百人一首大会が、一月七日、横田コミュニティセンターで行われました。

この大会は、百人一首の会「山里会」（藤原郁子代表）と横田公民館が毎年開催し、今年で二十三回目となり、この日は、小学生や中学生、山里会の会員など約六十人が参加しました。

藤原代表から「子どもと大人が一緒になって百人一首をやるのは県下でも珍しい。ぜひ楽しんでください」とあいさつされました。

参加者は、読み上げられる歌に集中し、真剣に札を取り合っていました。

チーム名も新たに更なる飛躍を 仁多野球スポーツ少年団が創立十周年

仁多野球スポーツ少年団（川西功徳代表・監督）が、平成十三年の結成から十周年を迎え、その記念式典がカルチャープラザ仁多で行われました。

式典には、井上町長や親交のある野球チーム関係者など多くの来賓、卒団員、現団員、保護者など約百人が出席しました。

川西代表から「野球を通じて感じるプレーの大切さ、思いやりや礼儀、忍耐力を育てることが大切。そして、失敗してもくじけず諦めない子どもたちを育てていきたい」とあいさつされました。

また会場では、これまでの



新しい団旗をお披露目

チームの足跡をまとめた映像が上映され、出席者全員が、これまでのチームの活躍や歩みを振り返るとともに、創立十周年を祝いました。

当スポーツ少年団は、創立十周年を機に、チーム名を「奥出雲REDLEAVES（レッドリーブス）」に改めました。

町木の「紅葉」をチーム名に採用し、チームカラーである「赤」を感じさせるような熱いプレーで、今後、更なる飛躍が期待されます。

新調された大しめ縄



横田の玄関口～JR出雲横田駅～ シンボルの大しめ縄を新調

JR出雲横田駅舎のシンボルである大しめ縄が新調され、十二月二十七日、除幕式が同駅舎前で行われました。

式には、新しい大しめ縄を寄贈した横田駅前商店街のメンバー、しめ縄製作グループ、JR木次鉄道部、地元住民など関係者約五十人が出席し、しめ縄の新調を祝いました。

新しい大しめ縄は、長さ約三・七メートル、直径最大約一・三メートルで、平成十年以来十二年ぶりの新調となります。

新調にあたり、地元商店街からの寄贈は初めてで、石原勝さん（中村）ら有志六人が夏から準備を始め製作されました。

同商店街の松浦鉄朗会長は「しめ縄を新しくすることで、たくさんのお客様に来て頂けると嬉しい」とあいさつされました。

今回の新調により、横田市街地への鉄道の玄関口として、また、稲田神社参道への出発点として、観光振興と地域発展の一助となるのが期待されます。